

## 2月の学級づくり【小学校版】

2月は、学習発表会や卒業式などの節目に向けての準備のときです。その準備の中で、児童一人一人の役割や推進日程を明確にして、計画的に進めていきましょう。また、残り少ない日常生活の中で子ども一人一人の様子や休み時間の学級の雰囲気をよく見ていきましょう。



### 学習発表会に向けた取組の工夫

1年間の歩みが見えるようにする

新たに作るのではなく、これまでの学習で生み出された模造紙などに書かれた記録、写真、作品などの財産を活用しましょう。子どもに見せて振り返りながら、いっしょに掲示するなど、教室の壁面コーディネーターになってみましょう。

発表することを子どもが決める

自分がかんばれたこと、考えを深められたこと、学級みんなで取り組んだよさを感じられたことなどの観点から、子どもと共に1年間の学習を振り返ります。その中から、子どもが発表したい内容が見えてきます。

発表会の「練習」ではなく、これも「学習」

準備の時間も、子どもにとって大事な学習です。その時間の課題があり、追究を振り返りながら次のめあてがもてる時間となるように計画しましょう。

### 子どもたちは規範意識を大切な人(失いたくない人)から学ぶ

～ 長野少年鑑別所 紀所長の言葉より ～

「規範意識を育てよう」 = 「ルールを守りなさい」「もっと厳しく指導しなくちゃ・・・」という指導に陥りがちです。

規範意識: 自他を尊重する。自他を傷つけない。

小学校段階では、この根本的な部分を揺るぎない価値基準に高める指導が必要です。そのためには、児童の身近にいる保護者あるいは教師が、児童にとって「大切な人(失いたくない人)」になり、自ら自他を尊重する姿勢、規律ある行動を示すことが重要です。

まずは、「ありがとう」と「ごめんなさい」を毎日言える教師になることが、子どもたちの規範意識を高める一番の近道と言えそうです。



### 朝の学活、帰りの学活のひと工夫

短学活は、マンネリ化しやすい反面、工夫をすると学級づくりの大事な場面になります。

- 朝、日直当番や学級長が今日の目標(願い)等を設定し、帰りの会で振り返ってみましょう。目的をもって生活することは、子どもたちのがんばりやよさを発見するチャンスです。
- 出欠の確認の際、子どもの名前を一人一人呼び、その返事の仕方や表情を見ましょう。毎日ではなくとも、時々やってみてはどうでしょう。子どもの変化に気付くことがあります。
- みんなに知らせたいニュースの発表など、自己表現する場をつくりましょう。「今日のありがとう」「今日のごめんなさい」など、友達関係を深める場の設定も大切です。

### 支援が必要な子どもの「つまずき」を支援するポイント

～ 忘れることが多い～

「指示に対して注意を持続することが難しい児童」には

話し始める前に、肩に手を置いたり、アイコンタクトを取ったりして注意を促してみてもいい。

「言葉での指示を記憶しておくことが難しい児童」には

全体への指示をした後に、個別に要点を書いたメモ等を渡し説明してみてもいい。

「整理整頓をすることが苦手な児童」には

本人が管理する物を減らしてみてもいい。写真やイラストにより、何をどこに片付けるかを分かるように明示してみてもいい。